

平成 21 年度第 1 回環境振動シンポジウム企画 WG 議事録（案）

A. 日 時 2009 年 5 月 14 日 木曜日 15:00～17:00

B. 場 所 建築学会会議室

C. 出席者 松本主査、以下 11 名

D. 提出資料

No.1 第 28 回環境振動シンポジウムテーマについて

E. 議事内容

1. 第 28 回環境振動シンポジウム（2010 年 1 月 19 日（火）開催）のテーマについて

・資料説明（資料 No.1）

→運営委員会（4/21）での意見交換の内容、過去のシンポジウムテーマ、など

・シンポジウム内容に関する議論

→第 30 回を見据えたテーマ設定をした方がよいとの運営委員会での意見に対して

→第 30 回のテーマに関して、

これまでの総括（「歩み」のまとめなど）と今後の展開、

建築界へのコントリビューション（居住性能評価指針など）、

などがキーワードとして挙げた。

→第 28 回から第 30 回までの 3 回では、それぞれ独立したテーマを設定することで合意した。

→第 28 回のテーマの決定について

→運営委員会で議論された、濱本運営委員会主査からの提案である、環境振動の予測・シミュレーションについて議論した。

→小委員会あるいは WG を中心としたテーマ設定について議論した。

>性能設計法小委員会は来年の大会での PD を検討中

>測定分析小委員会はこの数年連続して技術報告集で成果を公表

>戸建て WG は可能性があるが、参加者が住宅メーカーに限定される恐れあり

>設計系のテーマの方が多くの参加者を見込める

→対策技術の紹介も候補。地盤や建物に対する対策。話題提供はデバイスのメーカーなどに依頼。

→以上を議論した結果、第 28 回は予測・シミュレーションをテーマにすることとした。

→シンポジウムの内容

→実務レベルの予測・シミュレーション技術の現状を俯瞰

→ゼネコン・設計事務所に自社の予測・シミュレーション技術を紹介してもらう（例：外販ソフトの紹介とデモ、視覚的な予測・シミュレーション結果を用いた技術紹介）

→紹介された技術の評価（優れた技術の抽出など）を行う

→タイトル案：環境振動における予測・シミュレーション技術の最前線

→今後の進め方

- 小委員会等の委員に依頼し、各社から紹介可能な既存の技術を挙げてもらう。
その際、パンフレット等、技術内容が分かる資料の提供も合わせて依頼する。
(該当する委員に企画 WG 主査から直接メールで依頼。6 月末締め.)
- 7 月中に WG を開催し、各委員から提供された技術の中から、話題提供を依頼するものを選定する。その際、特定の分野の技術に偏らないように配慮する。

2. 次回 WG 開催日時について

- ・次回は 7 月 14 日（火）17:30～の開催とした